

## 子宮内外同時妊娠の一例

昭和34年8月5日受付

下伊那赤十字病院

赤羽伸弘

飯田市

後藤光正

## A Case of Combined Intra- and Extra- Uterine Pregnancy

Nobuhiro Akahane

Shimoina Red Cross Hospital

Mitsumasa Goto

Iida City

## I 緒言

子宮内妊娠と子宮外妊娠との合併した症例は、1708年 Duverney が初めて発表して以来欧米においては多数の報告があるが、本邦においては昭和5年森川、桜林の報告以来約25例の報告があるのみである。

我々は最近、当院において妊娠3ヶ月兼左側卵巢嚢腫の診断のもとに、子宮内容除去術を施行し明らかに胎児部分を確認、更に開腹術によつて卵巢嚢腫と思われた腫瘍が肉眼的、組織学的に卵巣妊娠であることを確認し得た一例を経験したのでここに報告する。

## II 症例

患者：兵〇由〇，26才，一回経産婦。

家族歴：患者の夫は双生児の弟であり、又患者の叔母も双胎分娩を経験している。

結婚：昭和32年3月6日，24才で健康な現夫と結婚，昭和33年1月21日女兒を出産す。

既往歴：生来健康にして特記すべき疾患はない。

月経関係：初潮15才，以后31日型で極めて順調，持続期間4乃至6日間，量中等度，月経痛(-)，月経障碍(-)，最終月経は昭和33年8月16日から6日間。主訴及び現症歴：10月初旬より悪心及び嘔吐等の悪阻症状を主訴として11月5日入院した。

初診時所見：体格中等度，栄養良好，顔貌正常，皮膚及び可視粘膜の貧血は認めない。脈搏，血圧，その他胸腹部に特別な異常はない。

子宮は前傾前屈，手拳大，硬度軟，左側付属器より子宮体後部ダグラス氏窩に陥入する鶯卵大の腫瘍を触知す。腫瘍は硬度弾力性軟，圧痛軽度，右側付属器は触知し得ない。子宮腔部はリビド着色著明。

以上の所見より妊娠3ヶ月兼左側卵巢嚢腫の診断のもとに手術を予約し一応帰宅す。

手術所見：

## 1) 子宮内容除去術所見

11月7日悪阻症状高度のため人工妊娠中絶術を施行す。子宮腔長10cm，出血量約30c.c.，子宮内容物中に肉眼的に明らかに絨毛及び胎児部分を確認した。

## 2) 開腹所見

11月13日左側卵巢嚢腫手術のため入院。Percamin S 2.2c.c.の腰椎麻酔のもとに下腹部正中切開をもつて腹腔に入るに，子宮は前傾前屈，鶯卵大，硬度軟，可動性。左卵巢は鶯卵大，弾力性軟の腫瘍を形成しダグラス氏窩に陥入す。腫瘍表面は多少凹凸し，暗赤色を呈し，各所に血腫を形成す。左卵管は充血著明，多少肥大せるも周囲との癒着はない。右卵巢，卵管は正常にして黄体は認められなかつた。

よつて左付属器をダグラス氏窩より引出し，卵管と共に剔出して型の如く腹腔を閉じ手術を終了した。尚腹腔内には出血は認められなかつた。

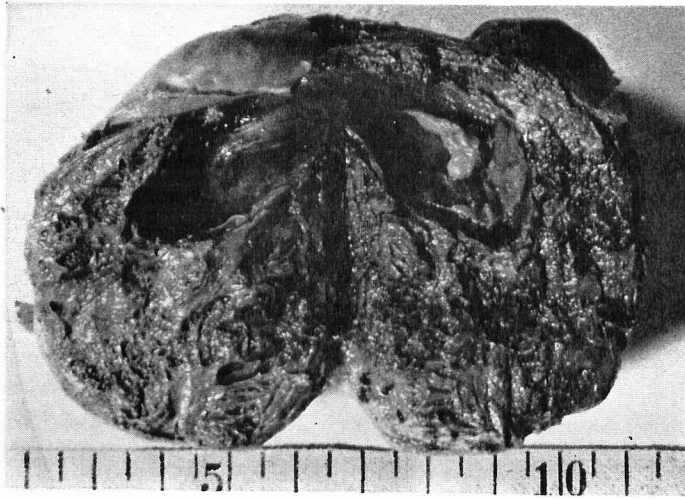
## 剔出標本所見：

## 1) 肉眼的所見

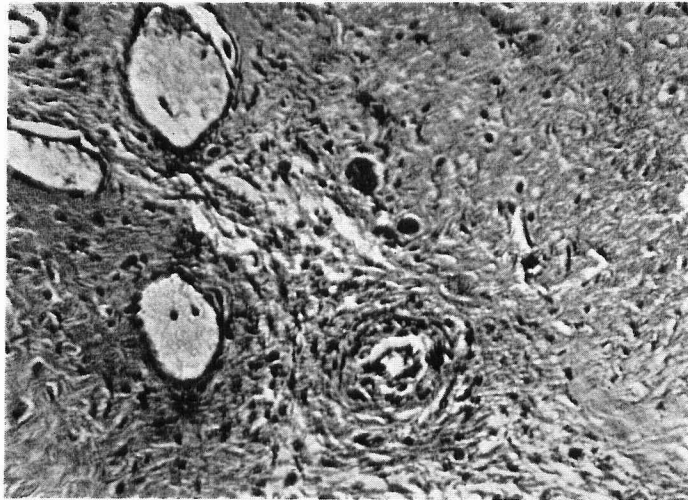
剔出腫瘍は鶯卵大にして卵形を呈し，硬度弾力性軟，暗赤色を呈し，各所に血腫を形成しているが破裂口は認められなかつた。割を入れるに内部より約10c.c.の羊水の流出があり，2×2×3cmの胎嚢と思われる内腔に約2cmの胎児を認めた。胎児は稍浸軟し妊娠月数に比し発育は不良であつた。尚細密に観察するも黄体は認められなかつた(第一図)。

## 2) 組織学的所見

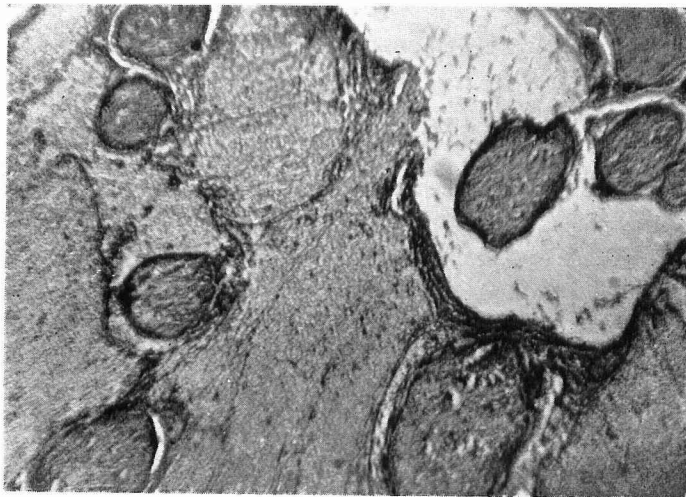
明らかに正常卵巢組織を認めるも一般に広汎なる血液浸潤と壊死巣を認めた(第二図)。尚組織の一部に定型的な絨毛膜並に絨毛の存在と，散在せる絨毛細胞を確認した(第三図)。然るに数個所にわたり組織学的検索を試みたるも黄体細胞の存在は認められなかつた。又一部に軽度の脱落膜様変性を認めた。



第 1 图



第 2 图



第 3 图

### Ⅲ 総括及び考按

子宮内外同時妊娠に関する報告は1708年, Duverney が初めて報告して以来, 欧米における報告数は1913年 Neugebauer は224例と報告し, De Voe 及び Platt は1948年までに395例, P. Sickenberger によれば1952年までに402例, Zarou は1952年までに415例と報告し, 更に Viviano は1956年までに437例と報告している。

本邦においては森川, 桜林の報告以来約25例である。

本症の外妊に対する頻度は Marten, Mayer は105例の外妊中1例と報告し, De Voe は125例中1例, Schenk は104例中1例, Skrobensky は350例中1例と報告している。

子宮内外同時妊娠の中で, その対称になる子宮外妊娠の大多数は卵管妊娠であつて, 外妊中の約0.3乃至0.5%を占めるに過ぎないと云われる卵巣妊娠が子宮内妊娠と合併することは極めて稀有なものと考えられ, Neugebauer に依ると243例の子宮内外同時妊娠中卵巣妊娠との合併はわずか8例であつたと報告している。

子宮内外同時妊娠の成因は子宮内二卵性双胎の場合と同様に異経期妊娠は否定されている。すなわち同時に排卵された二つの卵が受精し, 一方が子宮内に着床し, 他方が子宮外に着床した二卵性双胎の一変型と考えられる。

二卵性双胎の排卵様式に関しては,

(i) 両側卵巣より同時に1個ずつ排卵し, したがつて両側卵巣に各々1個の黄体を認める場合。

(ii) 一侧卵巣の2個の成熟卵胞より1個ずつ排卵し, したがつて一侧卵巣に2個の黄体を認める場合。

(iii) 一侧卵巣の1個の成熟卵胞より同時に2個の排卵があり, したがつて一侧卵巣に1個の黄体を認める場合。

が上げられている。この中 (iii) が最も多いとされている。

高田によれば欧米の文献では黄体の明らかな24例中, 一侧卵巣に1個のもの14例, 一侧卵巣に2個のもの4例, 両側卵巣に各々1個のもの2例, 子宮外妊娠と反対側の卵巣に黄体があり卵の外遊走を想像させるもの4例という。

本例においては両側卵巣に黄体は認められなかつた。このことは本例が一侧卵巣の1個の成熟卵胞より同時に2個の卵が排卵され, その一方が子宮内に着床し, 他方が何等かの原因で卵胞内に残留し基底部に着床発育したものと考えられる。

すなわち卵巣妊娠は一般に卵胞内妊娠と表在性卵巣妊娠の二つに分類され, 更に前者を卵胞基底部着床と側壁着床とに分けられる。これらの区別は黄体の有無, 完, 不全により分類され, 卵胞内妊娠においては基底部着床の場合は黄体は圧縮されて欠如することが多く, 側壁着床の場合は通常不完全な黄体を認め, 表在性着床の場合は黄体は胎嚢壁と全く関係なく完全なる状態で認められるとされている。

本例の場合, 両側卵巣に黄体が認められなかつたことよりして, 恐らくその妊娠が基底部着床の為に黄体が圧縮され欠如したものと思われる。

子宮内外同時妊娠と多胎妊娠分娩との関係は, Neugebauer の集例によると既往に双胎分娩を経験せるもの3例, 三胎分娩を経験せるもの1例があり, 更に子宮内双胎妊娠と子宮外単胎妊娠の合併せるもの5例, 子宮内単胎妊娠と子宮外双胎妊娠の合併せるもの1例を報告しているが, 本例においても夫が双生児であり, 叔母が双胎分娩を経験しているということは興味あることである。

臨床的診断については, 1927年 Zimmermann は次のようにのべている。すなわち末だ中絶せぬ卵巣妊娠では卵巣は増大し, 双合診で軟又は Schläff-Zystisch の抵抗として触知することもある。しかし卵巣にはこれと略同様な硬度を示し, 且つ卵巣妊娠と同様に速かに且つ平等に成育し得る腫瘍, 例えば卵胞嚢腫又は卵胞血腫が屢々形成される。又中絶前の初期卵巣妊娠が極めて稀有なるものとの観念が先入し, 本例の如き場合は子宮内妊娠兼卵巣腫瘍と診断され易く, 術前に適格なる診断を下すことは一層困難である場合が多い。

### 結 語

最近我々は26才, 一回経産婦で子宮内容除去術により胎児を確認し, 更に開腹術により左側卵巣に肉眼的, 組織学的に卵巣妊娠の合併せる一例に遭遇したので報告する次第である。

本論文の要旨は第24回長野県産科婦人科学会において発表した。

擧筆するに当り, 種々御援助戴いた国立松本病院産婦人科医長清水甲子夫先生並に望月浦棲先生に深く感謝致します。

### 文 献

- ①G. S. Zarou & A. Sy.: Am. J. Obst. & Gynec. 64: 1338, 1952. ②J. G. Viviano: Am. J. Obst. & Gynec. 72: 191, 1956. ③P. Sickenberger: Am. J. Obst. & Gynec. 64: 675, 1952. ④内野: 産と婦, 15, 3 (昭22). ⑤小林・他: 産婦の世界, 5, 3 (昭28). ⑥小原: 臨産婦, 9, 5 (昭30).

- ⑦高田：日婦会誌，27，2（昭7）。 ⑧石川・他：産と婦，24，12（昭32）。 ⑨竹村・他：産婦の実際，5，11（昭31）。 ⑩平川：日医大誌，20，8（昭28）。 ⑪萩野・他：産と婦，12，1，2（昭19）。 ⑫小笠原：臨産婦，6，2（昭27）。 ⑬山田：産婦の世界，8，12（昭31）。 ⑭内田・他：産婦の世界，11，2（昭34）。 ⑮小野：産と婦，10，9（昭17）。 ⑯高木：産と婦，18，2（昭25）。 ⑰高見・他：産婦の世界，7，2（昭30）。 ⑱田中・他：産婦の世界，4，2（昭27）。